

新星、現るー。

問い合わせ先 菊池一族プロモーション室
☎0968(25)7267

て豊田十郎と名乗りました。

1319(元応元)年、武光は12代武時の庶子(正妻ではない妻の子)として生まれましました。16人の兄弟とともに成長し、14歳の時、父武時最後の戦である博多合戦にも同行しています。死を覚悟した討ち入りの直前、武時は武光を博多の聖福寺に預け、避難させました。父の無念を胸に抱きながら肥後に帰った武光は、その後豊田荘(熊本市南区城南町)の小領主になっ

この地で武光は、大きな影響を受けることになる人物と出会います。豊田荘の隣、甲佐の守富荘を治めていた阿蘇家の庶子、恵良性澄です。

当時の阿蘇家は家内で北朝方と南朝方に分かれて争っていたのですが、性澄は南朝方として、庶子でありながら阿蘇大宮司職の最有力候補という実力の持ち主でした。若い武光は10歳年上の性澄とともに、度々出陣して北朝方を倒しています。

武光のもとに深川の菊池本城(菊之城)が敵の手に落ちたという知らせが届いたのは、1345(興国6)年のことでした。当時の菊池は13代武重が34歳の若さで病死した後、正妻の子である弟の武士が跡を継いでいました。しかし、時は戦乱の真つ只中であり、軍事的にも政治的にも未成熟な武士にとって、緊急事態とも呼べる状況での判断は非常に難しく、効果的な打開策を打ち出すことも出来ないまま、北朝方の合志幸隆に城を奪われてしまったのです。

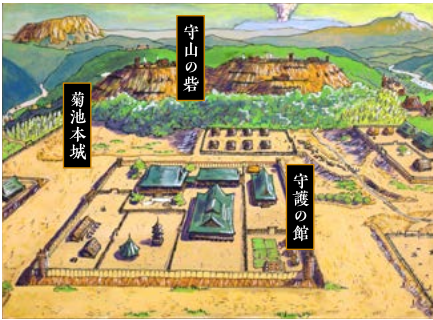
一族にとつての絶体絶命のピンチを、武光は大きなチャンスに変えました。自身の手勢と性澄の助けを借りて、豊田荘から一気に本城へと攻め込みます。本城を取り返すのにかけた日数は6日間。誰もが武光の実力を認めざるを得ない状況を作り出しました。

◆絵画連作◆

幻の都 城下町 菊池

絵・文 橋本真也

第一章 武光公が築いた絢爛たる都



其の2 菊池本城・守護の館

ここは菊池一族の領土の心臓部、菊池本城が置かれた場所です。現在は菊池神社のある守山には砦が置かれ、麓には菊池氏守護の館がありました。この館は200畝四方の敷地に築かれた広大なもので、敵方に攻め込まれたときは城山に立て籠もり、多くの菊池の若者たちが命を散らしました。

庶子である武光は、一族当主の候補にすら入っていませんでしたが、むしろ菊池本領を離れていたおかげで、一族内部の後継者争いに巻き込まれることなく、豊田荘で蓄えていた力を絶好のタイミングで発揮できたでしょう。実力で菊池の表舞台に躍り出た武光はこの後、15代当主として、一族の黄金時代を築き上げていくのです。

わいふ一番館

問い合わせ先 わいふ一番館 ☎0968(24)6630

【ギャラリー】

「航空写真展」SKYSTREAM杉浦 聡

熊本空港などで四季折々を撮影した会員の飛行機写真作品展です。皆様のご来館をお待ちしております。

期 間:5月8日(水)~26日(日)



「中井葉香個展(教室作品同時展示)」画楽

水彩画、日本画、風景人物、花などを題材に描いたものを展示します。ぜひご覧ください。

期 間:5月28日(火)~6月9日(日)

写真や絵画などを展示しませんか

わいふ一番館ではギャラリーに作品を出展する人を募集しています。詳しくはわいふ一番館までお尋ねください。

開館時間 午前9時~午後5時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

菊池観光交流館

問い合わせ先 菊池観光協会 ☎0968(25)0513

リニューアルオープン後初の展示会を開催します!

「田中清俊絵画展」

ゴールデンウィークに芸術に触れませんか?熊本の四季折々の美しい風景を切り取った絵画を展示いたします。入場無料。ぜひご来館ください。

期 間:~5月6日(月)(振休)



写真や絵画などを展示しませんか

菊池観光交流館では、展示コーナーに作品を出展する人を募集しています。詳しくは菊池観光協会までお尋ねください。

開館時間 午前9時~午後6時

休館日 なし(点検などで臨時的に休館する場合あり)